

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスくれよん三山木		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 10日		～ 令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 1日		～ 令和8年 3月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 4月 30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学年、発達段階によりクラス分けを行い、近い年代の子ども同士でコミュニケーションを図れる環境を提供できる。また、個別の課題等も考慮しながらSST等、社会性を身に着けることが出来るプログラムを提供している。	集団療育のプログラムを提供しつつ、子ども一人一人の個性や特性に合わせた対応を心掛けています。子どもたちが楽しみながら主体性を持ち活動に取り組めるよう、飽きの来ない内容を日々、検討しています。	新しいプログラムの検討、導入を随時進めていきます。また、クラス、個人に合わせた活動が提供できるよう、事前のアセスメントを丁寧に実施する等、取り組んでいます。
2	訪問支援を組み合わせることで、地域の小中学校と連携できる。また相談支援事業所、短期入所事業所などを法人内に併設しており、幅広いニーズに応えることが可能。	保育所等訪問支援の活用を積極的に進めています。ご本人、保護者様のニーズに応じて実施していきます。個人情報の取り扱いに配慮しつつ、学校との連絡、連携を行っています。	地域の小中学校、行政、他機関との連携を深め、丁寧なやり取りを心掛けます。保護者様との連絡共有ができるようにしていきます。
3	就学、進路相談のほか、ご家庭の困りごと等の相談をお聞きしながら適宜助言をすることが出来る。また、関係機関、行政とも連携することが出来る。	定期的な面談のほか、随時、ご相談をお受けしております。進路、就労に関するご相談も他部署と連携し、助言等させていただきます。	令和8年度より毎月の予定表の下部に面談申込用紙を添付し、随時、面談のご希望を出していただきやすいようにしていき増す。訪問支援前後にも事前面談とフィードバック面談をご希望に応じて実施します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報発信の不足	定期的な活動報告が無い、SNSを現状活用していないことで、保護者様へ活動の内容やお子さまの様子が伝わりづらい状況が出ています。また、自主通所されるお子さまの日々の状況について、保護者様と連携が不足している点が挙げられます。	コロナで中断していた活動報告会の実施を再開しています。今後も毎年実施し、お子様の様子や事業所の取り組みを利用いただいている方へ向け発信していきます。SNS等での発信は個人情報、プライバシーの観点から慎重に検討していますが、まずは日々の引継ぎ、個別面談、報告会等で直接お伝えする機会を増やす努力を重ねてまいります。
2	活動スペースが十分に確保できない場合がある	定員が満員と言うこともあり、クラスによっては活動スペースが十分に確保できないことがあります。また個別の集中スペースやクールダウンスペースが確保できていない場合があります。	クラス編成の見直し、少人数グループ化による活動場所の調整等を日々行っています。パーティションなどを使用し、活動空間を仕切るなどの工夫を重ねていきます。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童デイサービス くれよん三山木

公表日 令和8年5月30日

利用児童数

51

回収数

34

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	33			1	お子さんの人数によると思いますが、十分かどうかが保護者側ではわかりづらい部分があると思います。	クラスごとに部屋を分けるなど、十分な活動スペースを設けることができるよう工夫しています。報告会などで活動の様子を見ていただけるようにしていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	32	1		1	活動後の子どもの様子は、毎回共有いただいておりますが、こちらの質問についても保護者側はわかりにくいです。	各クラス、児童3人に対して1人程度のスタッフが活動に入っております。必要に応じて個別対応を行っています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	33			1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	33			1		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	34					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	34					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	34					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33	1			計画の内容では、こどもや家族の希望をいただいておりますが、日頃の活動では計画に沿った支援が正直わからない	ご利用後の引継ぎ時、より個別支援計画書を意識し、要点を押さえた引継ぎを心掛けます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33	1			こどもが楽しんで活動しているので、不安などはないですが、目標やGOAL(支援内容)などが決めづらい点が気になります。	活動内容が固定化されない点については工夫を重ねております。個別支援計画に沿った目標と活動内容であることを面談、活動報告会などを通じて発信していきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	7	9	8	あまりない 特に必要とは感じていません。	地域の放課後児童クラブ等との交流は予定しておりません。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34				小学校入学時のディの説明会で十分な説明がありましたが、年々の変更事項もあると思うので年度毎に冊子などで案内があればいいなと思います。	料金変更の際は説明書を配布し角煮に多 大ております。令和8年度より、利用に 関する諸注意を含めた綴りを配布いたし ます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	2		1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	30	3		1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	33	1			主にその日のこどもの様子の報告のため(活動、どんなことをしたか)発達状況についての共通理解ができていくのか少しわかりづらく思います。	令和8年度より、ご希望に応じて柔軟に 面談対応させていただきます。日々の引 継ぎ時にお話しできない点やご相談をお 受けしていく予定です。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	33		1		面談の回数を増やして欲しい。 面談は少ないと思います。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34					
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	25	5		4	兄弟と一緒に参加でき、本人だけでなく兄弟も優しくむかえいれてくださり、ありがたくなります。	今後もご家族も一緒に参加していただく 取り組みや、活動報告会の実施を継続し てまいります。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	1		3	活動予定や相談etcについて報・連・相がスムーズでないと感じることはありません。	ご迷惑をおかけし申し訳ありません。スタッフ間の連絡、共有をはじめ、保護者様への連絡等も速やかに行えるよう、取り組んでまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	1		1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	25	2		7		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	1		2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	1	3	9	一部説明を受けたと思いますが、十分ではないと思います。	各種マニュアルは整備しておりますが、各ご家庭への説明は不十分な点があります。各ご家庭へ必要な情報を届けることができるよう取り組んでまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	1	2	11		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	2	1	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28	2		4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	34					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	33	1			・プログラムによる ・楽しみにしており、親も安心して、かつ学びが多いことから複数回数利用できたら良いと思っています。(難しいと思いますが)	今後も安心して、楽しみながら通っていただけるよう工夫を重ねてまいります。学年別のクラス編成をさせていただいており、複数曜日のご利用が難しい状況ではありますが、土曜日のプログラムなど含め、ご案内させていただきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	34				総合的に満足しています。ただ面談回数が少ないことや支援状況のすり合わせが中々できていないため今後のイメージがしづらいです。	令和8年度より面談実施方法を変更しております。随時申し込んでいただく形になります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス くれよん三山木		公表日		令和8年5月30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	児童同士の相性や関係史なども見ながら、小グループ化し、部屋を分けるなどの工夫をしている。	クラス、曜日によっては活動スペースが手狭になっている。利用児童の増加や、活動内容によってスペースが必要な場合があるため。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	4	法令を遵守し、人員配置を行っている。	個別支援が必要な児童、活動内容によっては人手が必要な場合がある。活動内容の工夫や環境調整を行う必要がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	クラスごとに掲示物などを作成し、視覚的にわかりやすいように工夫している。	全クラスで教室を共有するため、掲示物などが統一できないことがある。ホワイトボードやパーテーションをうまく活用する。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	遊びの部屋と宿題の部屋など、クラスや活動によって空間を分けるようにしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	クールダウンスペースや個別支援の部屋を設けている。	児童の増加により、個室が使用されていることもある。パーテーションを用いるなどの環境調整を行っていく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	個別支援計画の参照、日々の支援前のミーティングなど、職員が児童個々の様子を振り返る時間を設けている。	より個別支援計画、モニタリングを意識した支援を構築する。より現場に即したサイクルの構築を検討する。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	事業所内会議などでアンケート結果を共有している。また、日々の保護者からのご意見など、ミーティングで共有している。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	同上		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	事業所としての受診は行っていないが、法人内事業所で順番に第3者評価を受診している。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	Eラーニング、外部研修などの機会を設けると共に、事業所内でのケース検討、ニーズ整理など時間を設けている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	支援プログラムを毎年公表し、令和8年度は各ご家庭にプリントとして配布している。	ホームページ上の公表だけでなく、各ご家庭に配布する。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	利用前の面談にて児童の様子、困りごとを聞き取り、個別支援計画書を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	2	児童それぞれに担当者が付き、児童発達支援管理責任者とともに計画書作成を行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	常に閲覧できる場所に保管している。ケース検討などで、目標や支援方法などの確認を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3	利用前のアセスメントを事業所所定の様式で行っている。今後、インフォーマルなアセスメントツールを活用できるよう検討中。	アセスメントが十分ではないと感じることがある。学校の先生方の話も聞き、取り入れていきたい。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	保護者面談、保育所等訪問支援など組み合わせながら、支援を構築している。今後も地域、保護者のご意見を取り入れながら、本人にとってより良い支援を提供できるようにしていきたい。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	クラス単位でのプログラムの立案を行い、児童個々の発達特性に合わせた内容を取り入れている。	クラス内の児童の発達段階に幅がある場合、プログラムの構築が難しい時がある。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	児童が楽しみながら活動できるよう、内容が固定化されないように日々、工夫を重ねている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	集団に入ることが難しい児童には個別対応を行い、中学生に対しては個別相談などの活動を提供している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	毎日、活動前に活動内容、留意点、送迎等についての打ち合わせを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	毎日の打ち合わせの中で前回活動の振り返りを行い、児童の様子、保護者からのご意見などを共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	2	活動ごとに記録をつけており、入力しやすいよう、システムの導入などを行っている。	入力作業が追い付かず、記録が遅れていることがある。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	モニタリングが不十分だったが令和8年度より構成を見直し、モニタリングにも注力していく。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6	0	子どもが主体的に、遊び、学べるよう、多様な活動を提供している。地域の公園や公共の場に出かけ、交流の機会も設けている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	高学年クラスではより自分たちで選ぶ、企画計画する活動を多く取り入れている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	行政との連携、医療機関への同行、学校への訪問支援などを実施している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2	学校との連絡は基本、保護者を通して行い、様子も保護者を通して共有していただいている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	同法人内の児童発達支援事業所から継続利用の方については、保護者同意のもと情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	保護者、相談支援事業所からご依頼があった場合、支援内容や様子等を共有している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2	現在、スーパーバイズを受ける機会が少ないが、研修に参加するなど機会を設けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	現在のところ機会が少なく、交流のご希望も少ない状況。地域の公園や公共施設での接点はある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	京田辺市自立支援協議会子ども部会に参画しており、地域の事業所連絡会にも参画している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	ご利用時にその日の活動や、近況などを伺っている。時間を要する場合は別日で面談日を設けている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	現在、ペアレントトレーニングやセミナー、研修は実施していないが、法人内では保護者向けセミナー、研修を実施している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	ご利用開始時には説明を実施している。長期間利用していただいている方には再説明の機会が少なかったが、年度初めに各種冊子を配布している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	本人、保護者からのご意見は常に聞かせていただき、保護者面談の回数も増やす予定。児童本人の意思確認も大切にしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	毎年、計画書の説明を行い了承を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	適宜相談に応じ、必要に応じて面談を設定するなどしている。相談室へつなぐなど、関係機関とも連携するようになっている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	年に数回、ご家族も参加していただける行事を開催している。毎回、多くの保護者、ごきょうだいに参加していただいている。	回数が少なく感じている。もっと機会としてあった方がいいのではないかな。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	ご意見、苦情については速やかに連絡、対応するように心がけている。トラブル、事故発生時は報告書の作成とともに、法人内で共有する仕組みも構築している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	2	日々の活動、行事についてはお知らせを都度発行している。年に1回、活動報告会を実施し、活動内容を知っていただく機会を設けている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	2	十分に留意しながら取り組んでいる。書類の渡し間違いなどトラブルがあり、ご指摘もいただいている。再発防止策を立て、改善に取り組んでいる。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	利用児童の特性の合わせ、視覚支援ツールの使用や教材を作成するなど工夫している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	放デイ事業所単体では実施していないが、法人として地域に根差した運営を行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	年に2回、災害を想定した訓練を実施している。各種事故対応マニュアルなど整備している。	マニュアルの不足、保護者への周知不足がある。非常災害時の対応など、保護者へ周知していく必要がある。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	非常災害時に備え、連絡経路の整備や、備品の貯蓄の準備に入っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	利用前の聴き取り、フェイスシートの記入などで把握している。情報は年に一回更新している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	同上	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	年に2回の訓練、虐待防止研修の参加、社内研修を実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	ご家庭への周知が不足している点を指摘されている。今後、非常災害時の対応など、保護者に周知していく。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2	事故報告書は蓄積されているが、ヒヤリハットの蓄積が十分ではない。令和8年度より様式を整理し、積極的に記録していくように変更する。	スタッフによって書く、書かないのばらつきがある。記入した場合のフィードバックも不十分だったため、左記のように改善策を講じている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	年に1回、外部の研修に参加、社内研修を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	必要な場合は保護者への説明、個別支援計画書への記載を必ず行っている。		